

いえ
あつたかい家たち

～1,000万円から建てる木の城たいせつ“道産材100%”のあつたかい家～

いえ あったかい家たち

～1,000万円から建てる木の城たいせつ“道産材100%”のあったかい家～

コンセプト

近年、全国的に多くの地域で核家族化が進んでおり、2世帯住宅、3世帯住宅の需要が減少傾向にあります。理由は様々ですがバブル経済の崩壊以降、日本経済が低迷を続けている中で、大都市に経済と人が集中しており、本来住みやすく高齢化社会の問題を解決することのできる2世帯3世帯住宅においては、世代間で力を合わせて暮らすということが、非常に難しくなっているためと考えられます。

そういった中で、私達木の城たいせつは、少人数で生活するようになり空き部屋の多くなった2世帯3世帯住宅が、経済性、または住みやすさを考えた時に、一般的な2世帯3世帯住宅の住宅形体として多い2階建てや3階建てが、はたして暮らしやすく、楽しい生活のためになっているのだろうか?という疑問を抱きました。

そこで、この度、木の城たいせつとして考えた、1,000万円から建てる木の城たいせつ“道産材100%”の平屋に住んでいただくことにより、階段などの段差がなくちょうど良い広さ、そして、暖かく快適に過ごせる購入しやすい平屋という住まいを創りました。

この、木の城たいせつの1,000万円から建てる平屋という住まいには、核家族化による建物のサイズと住まわれる人数のズレを改善したいという考えから開発した商品であり、かつ北海道の厳しい冬の中で快適に暖かく過ごしていただくために、北海道の冬を研究してきた木の城たいせつとして、これまでも、これからも住まいに不便さや不快さを感じている一人でも多くのお客様へ、暖かく快適で、調度良い、木の城たいせつ“道産材100%”の平屋で素晴らしい毎日を送っていただきたいという想いが詰まっています。

あったかい平屋を提供し始めてから、多くのお客様より、平屋の広さはすごく良いが、もう少し収納の空間やお子様が出来た時、お知り合いの方が出来た時に部屋がほしいとのことでしたので、1000万円から建てる平屋に加えて、この度、一部二階住宅の22.00坪と24.25坪の2階建て住宅を“あったかい家たち”という形で創ることとなりました。

どちらの商品においても、あったかい平屋と同じく、暖かく快適で素晴らしい毎日をもっといただきたいという想いが詰まったものです。



平屋タイプ(お二人~)

19.00坪



一部二階建てタイプ(お二人~ + ゲストお一人)

22.00坪



二階建てタイプ(お三人~ + ゲストお一人)

24.25坪

いえ あったかい家たち

※1
~1,000万円から建てる木の城たいせつ“道産材100%”のあったかい家~

※画像はイメージです。※1.金額は税抜きです。屋外給排水・杭打工事などは含まれておりません。

雪のない時期の『あったかい平屋』

雪の降っていない時期における『あったかい平屋』は、冬の寒さに負けることのない暖かさを持っていることのみならず、暑さにも非常に強いという特徴も持っておりますので、適度な温度と湿度暖で、開放的に、快適に過ごしていただけるような家となっております。そして、平屋であればこそその目線で、季節の移り変わりを庭や、畑をとおして、肌で感じていただきたいと考えております。

北海道の四季を、この『あったかい平屋』を通して楽しんでいただけるようになっております。





雪のある時期の『あったかい平屋』

この『あったかい平屋』にお住まいいただきます皆様へは、毎年訪れる厳しい寒さと雪という北海道ならではの難しさに翻弄されることなく、快適にご家族で過ごしていただきたいと、私たちは考えています。また、どの部屋においても、その温かさや快適さが変わることなく、各部屋の温度差によるヒートショック（急激な温度変化により体が受ける影響のこと）などの心配もなく快適に過ごしていただけるのと同時に、光熱費に関しても従来の住宅に比べ、節約できるよう性能を向上させております。

あったかい一部二階建て ——

“あったかい平屋”での基本生活に加えて、ご家族の方が宿泊されることや、現状の住宅に多くの家財をお持ちの方に、予備の収納空間があればということで考えられたほど良い大きさと、経済的にあったかく過ごしていただける“あったかい一部二階建て”です。





あったかい二階建て

“あったかい一部二階建て”や“あったかい平屋”とは異なり、現状のお住まいの広さがある程度維持しながら快適で消費する光熱費の少ない住宅を必要とされている方へのほど良い大きさと、経済的にあったかく過ごしていただける“あったかい二階建て”です。